

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立唐橋小学校

【取組内容①】クラウドを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

- ・低学年では学習支援ソフトを用いて、自分の意見をうまく表現できない児童に対しても他者参照ができる環境を作ること、低学年でもクラウドを活用し、学びを深めることができた。
- ・また、中学年～高学年では、共同編集機能も用いてリアルタイムで、他者参照ができる環境を作ること、クラウドを活用した協働的な学びにつながった。
- ・Excelを用いて作成した単元計画表に、自分のめあてや学び方、振り返りを記入する。指導者は机間指導と合わせて、学びの状況を把握し、適宜アドバイスを加えていく。

【他者参照～算数科、社会科での実践～】



○学習に支援が必要な児童も、他者の考えを参考にすることで安心感のある学びの場へ。

【学びの状況を把握】



めあて	学びのめあて	学びのめあて	学びのめあて
3月10日	1 2 3 4 の筆算のしかたを考えよう	P25	友達と教え合いながら計算しよう
3月11日	一のくりにくり上がりがある筆算のしかたを考えよう	P26	かけ算の筆算をマスターしよう
3月12日	十のくりにくり上がりがある筆算のしかたを考えよう	P27	かけ算の筆算の仕方をもとに問題を考えてみよう
3月13日	一のくりと十のくりにくり上がりがある筆算のしかたを考えよう	P28	練習問題をしよう
3月14日	練習問題をしよう	P29	3けた * 1けた の筆算をしよう
3月15日	くり上がりに気づけて、筆算のしかたを考えよう	P30	かけ算の筆算をマスターしよう
3月16日	かけ算の筆算をマスターしよう	P31	テストに向けて勉強しよう
3月17日	テストに向けて勉強しよう	P32	友達と教え合いながら計算しよう
3月18日	友達と教え合いながら計算しよう	P33	テストに向けて勉強しよう

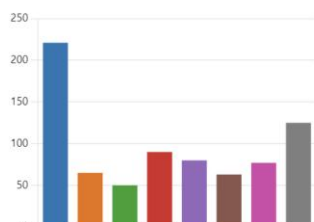
○必要に応じて、指導者が直接指導をしたり、児童同士をグループにする。それぞれの学びが深まるようコーディネートし、協働的な学びの場へ。

GIGAアンケートの実施（3～6年生）

6. 5のしつもので「やくにたつ」「どちらかといえばやくにたつ」とこたえたひと はどんなときに とくにやくにたつかわ (0点数) 教えてください。3つまで○をつけてください

証照

- わからないことをすぐに調べることが... 221
- ともだちのいけんや考えがきっかけになる 65
- とおくにすむひとと ころりゆうが... 50
- じぶんの考えを せりするところが... 90
- ふんしょうをかきおすことが かんた... 80
- アンケートのうをつかって みんなの... 63
- タブレットで問題を 自分... 77
- 自分の考えを わかりやすく まとめて... 125



【Formsでアンケートを実施し、改善策の模索】

- ・3～6年生を対象に、「タブレットは学習の役に立つか？」また、「役に立つ」と考えた児童は「どんな時に役に立つと思ったか」という質問項目を作成。

○分析すると、協働的な学びにつながる「友達の意見や考えが参考になる」という項目を「役に立つ」と考えた児童は少数であった。どのような学習形態(一斉授業・自由進度学習など)においても、「他者の意見に耳を傾け、自分の考えを深めることが大切」という基本的な指導を学校全体で今後も取り組む必要がある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立唐橋小学校

【取組内容②】 教科での学びの深まりを意識した情報活用能力の育成

- ・児童はアンケートを自分で作成し、収集・分析することで、情報を効果的に活用する力を身に付けた。
- ・デジタル付箋を使って意見を交流し、他者の視点を取り入れることで、新たな発見をする力が養われた。



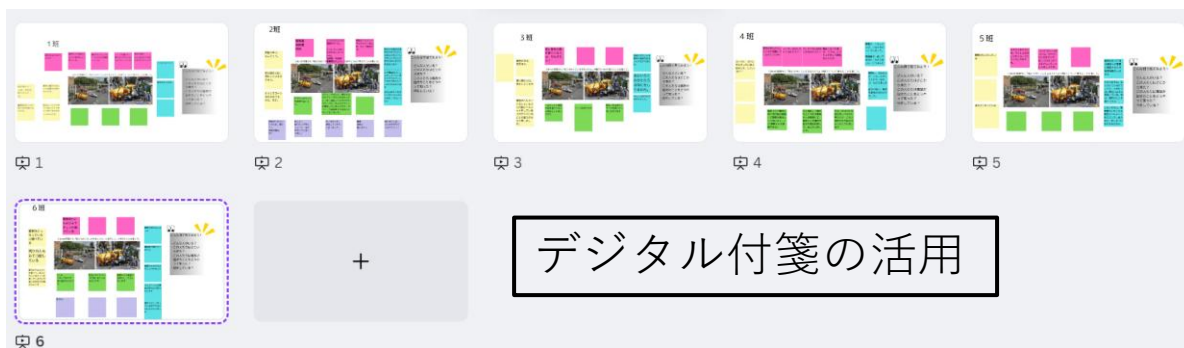
4年 国語「新聞をつくろう」

学習支援ソフトのアンケート機能を用いて、アンケートを分析し、新聞記事に生かすという活動を行った。自分でアンケートを作成し、収集、分析する経験を積むことが出来た。また、他学年においても、こうした経験をもとに、係活動において、自分たちで友達の意見を収集するために、アンケート機能を活用する姿が見られた。

3年 社会「事故や事件を防ぐ」

導入において、事故の写真をもとに、デジタル付箋（デジタルグラフィックツールのホワイトボード機能）で気づきや不思議を交流した。

班活動を行ったが、常時、他の班の意見を参照できるようにした。自分の意見だけでなく他者の意見も比較、分析することで、新たな気づきが生まれた。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立唐橋小学校

【取組内容④】 クラウドを用いた校務DX

- ・Share Point(ホームページ)を活用。デジタル教科書のリンクや出張届け、代行計画などをどこからでも入手できるようになっており、校務改善につながった。また、ToDoリストを見れば、各分掌の書類の締切日なども一目で分かる。
- ・研究協議会にて、グラフィックデザインツールのホワイトボード機能を活用した。各学年の協議会をデジタル付箋で行った。さらに、ツール内の機能を用いて、要約を行った。これまでの協議会よりも準備時間も実施時間も短縮することができた。指導案なども同じファイルに入れることで、分かりやすくなり、業務時間の削減につながった。


KARAHASHI E.S.

①学習に関わるリンク

書3 書写3年

書4 書写4年

書5 書写5年

書6 書写6年

教科学習用ソフト (京都市)

NHK for School

京都市総合教育センター

②校務に関わるリンク

行事申請

今日の連絡

出張届DL

行事実施計画申請入力

ToDoリスト入力

代行計画DL

教育ポータル

校外活動届DL (泊なし)

校外活動届DL (泊あり)

校外活動証明DL

職員室スキャナー

ホームページ作成

To Do リスト ※追加する場合は上の「ToDoリスト入力」アイコンをクリック！

すべて表示

+	新しいアイテムを追加	グリッドビューで編集	共有	すべてのアイテム
①	タイトル	期限	提出先	校務分掌等
	校外活動届 (未提出の場合)			
	学級だより原稿提出	2024/11/27	教頭前のBOX	管理
	学級だよりPDF提出	2024/11/28		
	出席簿作成	2024/11/29	C4th 入力	管理
	問題行動メモ 入力	2024/11/29	所定のファイルに入力	生指
	クラマネQ-U実施	2024/11/29		

3年生 事後研

社会とコミュニケーション

子どもが考えたことと本
文を照らし合わせると、す
ぐらに気づくことができます。
そのため、それをもとに全体
で共有し合いたいと思っ
た。

本文に載っている「付箋」
について、子どもたちが
「どうしてこの付箋がここ
にあるのか？」と疑問に
思っていました。

子どもたちが考えたことと
本文を照らし合わせると、
すぐに気づくことができます。
そのため、それをもとに全体
で共有し合いたいと思っ
た。

教材活用

デジタル教科書の活用

指導方法

子ども主体
を意識

付箋を書く際の教
師の役割

児童の思考と表現

児童が考えたことと本
文を照らし合わせると、す
ぐらに気づくことができます。
そのため、それをもとに全体
で共有し合いたいと思っ
た。

児童が考えたことと本
文を照らし合わせると、す
ぐらに気づくことができます。
そのため、それをもとに全体
で共有し合いたいと思っ
た。

要約

児童が考えたことと本
文を照らし合わせると、す
ぐらに気づくことができます。
そのため、それをもとに全体
で共有し合いたいと思っ
た。

児童が考えたことと本
文を照らし合わせると、す
ぐらに気づくことができます。
そのため、それをもとに全体
で共有し合いたいと思っ
た。

デジタル付箋



SharePointの活用